

## 藤井寺市公共施設等総合管理計画（素案）に対するパブリックコメント実施結果

公共施設を取り巻く様々な課題に対応するため、市の基本方針として作成中の「藤井寺市公共施設等総合管理計画」の素案について、パブリックコメントを募集しました。その結果と、提出された意見に対する市の考え方を公表いたします。

なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は適宜要約しております。また、パブリックコメントの対象事項についてのみ考え方を示しております。

頂いたご意見を参考に今後も検討を進めてまいります。

ご意見をお寄せいただきました皆さまに御礼申し上げます。

### ○ 意見募集期間

平成27年12月21日～平成28年1月24日

### ○ 提出方法及び意見件数

持参：2件（1名から） メール：6件（1名から） FAX：11件（2名から） 計19件

項目	ご意見	市の考え方
公共施設を取り巻く 現状と課題	公共施設の老朽化が著しい。また、駐車場が狭くて危険な施設もある。市民が利用しやすい施設に改善すべき。	○施設の駐車場が狭い点につきましては、ご不便をおかけしております。26、27ページにも記載しておりますが、利用者の安全に支障をきたさないよう適切に維持管理を行うとともに、今後修繕・更新等を行う際は、より利用しやすい施設となるよう改善してまいります。
	市の総合計画や市政運営方針に対して、施策の到達度はどうか、現在の市民要求に対して何が優れ、遅れているのかを明らかにすべき。自治体財政は市税収入だけか、交付税・補助金、さらに全国で行われている子どもの医療費助成を国の制度にするなど、見直す点は多い。	○現在、市において策定している「第五次総合計画」において「第四次総合計画」の評価・検証を行っています。49ページにも記載しておりますが、公共施設マネジメントにおいても進捗管理や評価・検証を行い、継続的な取組として進めてまいります。

項目	ご意見	市の考え方
公共施設を取り巻く現状と課題	利用者が少ない施設の例として幼稚園が挙げられているが、なぜ少ないのかという分析がない。3歳児保育、給食等を考えるべき。	○38ページにも記載しておりますが、利用者が少ない理由として「少子化の進展や共働き家庭の増加とともに、保育所や民間幼稚園に入園する園児が増加していること」が挙げられます。今後の検討において、より詳細な分析を行い進めてまいります。
	インフラの新設・維持・更新すべてを市の財政で賄うことを前提とするのは誤りである。国の責任も問うべき。保育施設の建替費用も国の補助を求めるべき。	○29ページにも記載しておりますが、公共施設の維持管理・更新において、国や府等の補助制度を積極的に活用し、一般財源による負担の軽減を図ってまいります。
	人口減少を前提としたまちづくりでは積極的な財政運営が出来ない。住みよいまちをつくり、人口減少を抑える最大限の努力をすることが前提であるべき。	○人口動向につきましては、今後も注意を払ってまいりたいと考えております。そのうえで、住みよいまちの実現のために、第五次総合計画と整合を図りながら公共施設マネジメントを進めてまいります。
	利用者の減少は、ニーズに合った運用が出来ているかにもよる。それを調査し示さなければ計画は立てられない。	○本計画は、公共施設マネジメントを推進していくための基本的な考え方を示したものとなります。今後の施設の維持管理や運用については、次年度以降、さらなる市民ニーズの把握に努めながら進めてまいります。

項目	ご意見	市の考え方
公共施設を取り巻く現状と課題	市民アンケートで「統廃合」や「質・量の見直し」と答えた人の公共施設への満足度は、ほとんどの施設で低い。この点をどう評価するかが示されていないならば、市民の声を反映したとは言えない。	○市民アンケートの結果では、公共施設マネジメントの取組の方向性として、「積極的な統廃合・複合化」や「質・量の見直し」を進めるべきとの意見が4分の3以上を占めていましたが、一方で、満足度について不満傾向が高い施設が多い点は認識しております。今後、こうした市民ニーズ等に対応していくため、必要な施設・機能（サービス）を見直してまいります。
公共施設マネジメントの取組の方向性	公共施設マネジメントは推進すべき。	○取組にご理解をいただきありがとうございます。本市が掲げる将来像の実現のために、今後も検討を進めてまいります。
	この方針では、住みたくても住めない、子育てできない、老後は居場所がない藤井寺になる。	○本計画は、施設を減らすことだけが目的ではありません。施設（ハード）とサービス（ソフト）の両輪において、今後も市民サービスの向上のため、さらなる検討を進めてまいりますのでご理解をお願いいたします。
	数値目標の15%縮減は削除すべき。	○数値目標については、公共施設マネジメントの取組の実効性を確保し、市民の皆様と課題意識を共有させていただくため設定しております。25ページにも記載しておりますが、数値目標については、社会経済情勢の変化等に応じて適宜見直しを行います。目標達成のためには、市民の皆様のご協力が必要であると考えておりますのでご理解をお願いいたします。

項目	ご意見	市の考え方
	<p>国の施策、市の施策の到達度を評価した上で、どのようなまちづくりを進めるのかを決める第5次総合計画があり、その実現のための公共施設等総合管理計画でなければならない。</p>	<p>○2 ページにも記載しておりますが、「公共施設等総合管理計画」は、その上位計画である「第五次総合計画」に即するものと位置づけております。第五次総合計画の理念や将来のまちづくりの方向性も踏まえて、さらなる検討を進めてまいります。</p>
<p>公共施設等の管理に関する基本的な方針</p>	<p>PPP/PFI（公民連携）の手法、指定管理者制度の導入が、効率的・効果的であるのか不明である。国の方針に従うものであれば必要ない。国には公共施設の維持管理に必要な財源を求めるべき。</p>	<p>○民間のノウハウ等の活用については、その効果を十分に検討し、PPP/PFI の手法や指定管理者制度の活用など、最も効率的・効果的な手法を考えてまいります。</p> <p>○29 ページにも記載しておりますが、施設の維持管理・更新において、国や府等の補助制度を積極的に活用し、一般財源による負担の軽減を図ってまいります。</p>
<p>公共施設等の再編に関する基本的な方針</p>	<p>利用者が少ない施設は費用対効果を勘案し、統合や複合利用化を積極的に推進すべき。</p>	<p>○施設の再編については、利用状況や費用対効果に加えて、市民ニーズや地域の実情等、様々な要因から分析・評価し、検討してまいります。</p>
<p>公共施設等の再編に関する基本的な方針</p>	<p>子どもが減少しているので、学校の統廃合（スクールバスで補完）や、空き教室があれば他用途に利用するといった取組が必要。</p> <p>学校の空き教室の利用は、学校教育の充実を考えていない。少人数学級や教育の充実が第一ではないか。</p> <p>規模の小さい藤井寺市は、自前主義に固執せず、周辺自治体との施設共同利用も検討されるべき。</p>	<p>○36 ページにも記載しておりますが、今後の児童数・生徒数の動向や地域における役割、市民ニーズ等を十分に踏まえ、検討してまいります。</p> <p>○48 ページにも記載しておりますが、本市で公共施設を保有・整備するのではなく、国や府、近隣市町と施設を相互利用する手法等も検討してまいります。</p>

項目	ご意見	市の考え方
用途分類ごとの基本的な方針	売却ありきではなく、市民が（年齢を問わず）楽しく過ごせる施設や、小さな子どもたちが安心して遊べるスペースの拡大が、今後の市の活性化につながると思う。	○市民生活を向上させていくために、将来のまちづくりの方向性も踏まえて、必要な施設・機能を見直してまいります。
	共働き家庭が増えているので、こども園を増やすべき。	○39 ページにも記載しておりますが、今後の児童数の動向や地域バランス等を踏まえ、こども園への移行も含め、幼稚園・保育所について検討してまいります。
	一部の特定の利用者だけに利用がとどまっている施設は、受益者負担も考慮すべき。	○29ページにも記載しておりますが、今後、施設の利用料金の見直しについても検討し、効率的・効果的な施設運営を進めてまいります。